

第6表 調理場業務状況

(1) 学校給食外部委託状況 平成29年5月1日現在

区分	単独調理場			共同調理場	
	小学校数	中学校数	義務教育学校数	調理場数	小・中・義務教育学校数
調理	278	128	1	62	475
運搬	49	37	0	74	575
物資購入管理	0	2	0	1	14
食器洗浄	273	127	1	57	465
ボイラー管理	3	1	0	43	381
その他の業務	2	1	0	32	260

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施している公立小・中・義務教育学校である。
- 2 炊飯の委託は除く。
- 3 デリバリー方式実施校は含まない。
- 4 「その他の業務」には、配膳業務、施設の清掃・点検等が挙げられている。

(2) 残渣処理の対応

平成29年5月1日現在

		生ゴミ処理機	ゴミ回収業者	養豚業者	その他	
公立小・中・義務教育学校	単独調理場 (539校)	学校数	49	511	0	6
		割合(%)	9.1	94.8	0	1.1
	共同調理場 (81施設)	調理場数	6	53	6	34
		割合(%)	7.4	65.4	7.4	42.0
公立特別支援学校数 (35校)		学校数	0	35	0	0
		割合(%)	0	100	0	0
夜間定時制高校数 (12校)		学校数	0	2	0	10
		割合(%)	0	17	0	83

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施する公立小・中・義務教育学校・特別支援学校・夜間定時制高校である。(共同調理場から配給している学校は含めない)
- 2 重複回答のため、合計が必ずしも100%にはなっていない。
- 3 親子給食校の場合は、それぞれを合わせて1校として記入している。
- 4 デリバリー方式実施校を含む。(本票は千葉中学校、東葛飾中学校は単独調理場に含める)

(3) 食物アレルギーへの対応

平成29年5月1日現在

			①詳細な献立表 対応	②弁当対応	③除去食対応	④代替食対応
義務教育 公立小・中 学校・	単独調理場	学校数	350	407	358	26
		割合 (%)	64.9	75.5	66.4	4.8
	共同調理場	調理場数	79	56	22	4
		割合 (%)	97.5	69.1	27.2	4.9
公立特別支援学校数		学校数	31	20	35	7
		割合 (%)	79.5	51.3	89.7	17.9
夜間定時制高校数		学校数	10	2	1	1
		割合 (%)	83.3	16.7	8.3	8.3

(注)

- 1 調査対象は、完全給食を実施する公立小・中・義務教育学校・特別支援学校・夜間定時制高等学校、共同調理場である。
- 2 重複回答のため、必ずしも100%にはなっていない。
- 3 「詳細な献立表」とは、判断できるような原材料を示し保護者・担任の指示、本人の判断で除外している場合。
- 4 「弁当対応」とは、対応が困難な場合に一部もしくは全部、弁当持参で対応している場合。
- 5 「除去食対応」とは、申請のあった原因物質を除いた給食を提供している場合。
- 6 「代替食対応」とは、除去食で失われた栄養価を別の食品で補う給食を提供している場合。
- 7 デリバリー方式実施校を含む。(本票は千葉中学校、東葛飾中学校は単独調理場に含める)